

中学歴史プリント（書き取り）
昭和時代（戦後）

名前

得点

/20

- 問1 1956年に日本がソ連との国交を回復し、国際連合への加盟が認められるきっかけとなった宣言を何という？
- 問2 戦後、経済の民主化を進めるために行われた、巨大な企業集団を解体する政策を何という？
- 問3 朝鮮特需によって経済が急速に回復し、その後の日本が遂げた目覚ましい経済発展の期間を何という？
- 問4 冷戦下の国際社会において、中華人民共和国が採用した政治体制を何という？
- 問5 1956年に日本が加盟を認められた、平和と国際協力を目的とする国際組織を何という？
- 問6 世界主要国の首脳が集まり、経済問題を中心に議論する国際会議を、通称サミットといいますが、正式名称を何という？
- 問7 中華人民共和国の成立により激化した、アメリカとソ連を中心とする二大陣営による国際的な緊張状態を何という？
- 問8 昭和時代（戦後）、日本が主権を回復する際、アメリカ軍の駐留を認め、日本国内に基地を提供することを定めた取り決めを何という？
- 問9 1973年の石油危機をきっかけとして、戦後の日本が続けてきた急速な経済拡大期を何という？
- 問10 1950年代半ばから1970年代初めにかけて、日本の主力産業となった鉄鋼や機械などの産業分野を何という？
- 問11 1950年に勃発し、日本の経済成長に大きな影響を与えた、朝鮮半島における国際紛争を何という？
- 問12 利益を得るために、将来の価格変動を予測して土地や株式を売買することを何という？
- 問13 戦後、日本が実現した、長期にわたって高い経済成長率を維持し続けた期間を何という？
- 問14 戦後の教育改革において、戦前の日本の教育方針の根本とされていたものは何という？
- 問15 湯川秀樹がその存在を予言し、ノーベル物理学賞を受賞するきっかけとなった素粒子を何という？
- 問16 1973年の第四次中東戦争を背景に、原油価格が急騰し世界経済に打撃を与えた出来事を何という？
- 問17 1973年、原油価格の高騰により日本経済に大きな影響を与えた「石油危機」のきっかけとなった戦争は何？
- 問18 1972年の沖縄返還を実現した時の内閣総理大臣は誰？
- 問19 1970年代に日本を襲ったエネルギー価格の高騰による混乱を何という？
- 問20 ポツダム宣言において、日本に対して要求された、戦争を終わらせるための条件を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 日ソ共同宣言	鳩山一郎首相がモスクワを訪れ、1956年にこの宣言に調印しました。これにより両国の戦争状態は終結し、外交関係が復活しました。このことはソ連の拒否権発動を回避し、日本が国際連合へ加盟するための重要な条件となりました。
問2	答え 財閥解体	GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の指令により、巨大な財閥企業を解体・分割しました。これにより、企業間の自由な競争を促し、経済の民主化を図ることを目的としました。
問3	答え 高度経済成長	1955年頃から1973年の石油危機まで、日本は年平均10%に近い高い経済成長率を維持しました。三種の神器（白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫）が普及し、人々の暮らしは大きく豊かになりました。
問4	答え 社会主義国	1949年に成立した中華人民共和国は、この社会主義陣営の一角を占める「社会主義国」として歩み始めました。当初はソ連と密接な関係にありましたが、後に独自の路線を歩むこととなります。中国は国連においても常任理事国としての地位を獲得し、国際政治で大きな影響力を持つ存在となりました。
問5	答え 国際連合	1956年の日ソ共同宣言によってソ連との関係が改善されたことで、日本は国際連合への加盟が承認されました。これ以後、日本は国際社会の一員として、外交活動を積極的に展開するようになりました。
問6	答え 先進国首脳会議	先進国首脳会議（サミット）は、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダなどの首脳が集まり、経済情勢だけでなく、政治、環境、エネルギーなどの世界が直面する重要課題を話し合います。特定の憲章を持つ国際機関ではなく、非公式な首脳の意見交換の場という性格を持っています。
問7	答え 冷戦	この対立は軍事的な衝突こそ避けていましたが、政治、経済、軍事、科学技術などあらゆる面で激しく競い合う状況でした。特に中華人民共和国の成立により、アジアでも社会主義が拡大したことは、西側諸国に大きな衝撃を与えました。
問8	答え 日米安全保障条約	1951年に締結された日米安全保障条約により、アメリカ軍が日本国内に軍事基地を置く権利が認められました。これにより日本はアメリカの軍事力を背景に防衛体制を整えました。
問9	答え 高度経済成長	この期間、国民所得が倍増し、生活水準が大きく向上しました。テレビ、洗濯機、冷蔵庫などが普及したほか、新幹線や高速道路などの社会基盤も整備され、日本は世界有数の経済大国へと成長しました。
問10	答え 重化学工業	重化学工業とは、鉄鋼、石油化学、自動車、機械など、原材料を加工して製造する産業の総称です。それまでの繊維産業を中心とした構造から転換し、大量生産・大量消費の時代を支えました。この時期の日本は世界有数の経済大国へと成長を遂げました。
問11	答え 朝鮮戦争	この戦争中、アメリカ軍が必要とする物資の生産やサービスの提供を日本が担いました。これを「朝鮮特需」と呼び、日本産業に莫大な利益をもたらしました。
問12	答え 投機	企業や個人が、土地や株式を実際に使う目的ではなく、転売して利益を得る「投機」目的で買い漁りました。これにより実体経済の価値以上に価格が跳ね上がる状況が生まれました。
問13	答え 高度経済成長	1950年代半ばから1973年頃まで、日本は毎年10%近い成長を続けました。鉄鋼・造船・自動車などの重化学工業が中心となり、国民の生活水準も劇的に向上しました。三種の神器（テレビ、洗濯機、冷蔵庫）が普及したのもこの時期です。
問14	答え 教育勅語	教育勅語は、学校教育において臣民としての道徳を教えるものとして利用されてきました。しかし、戦後、軍国主義や全体主義を支えた一因であるとして、GHQの指導と新憲法への適合性に基づき、教育の根本方針としての効力を否定されました。代わりに、個人の自由と平等を目指す教育基本法が新たな教育の指針となりました。
問15	答え 中間子	湯川秀樹は、原子核の中で陽子や中性子を結びつけている未知の力を説明するために、新しい素粒子である中間子の存在を計算によって予言しました。その後、この粒子が実際に発見されたことで、彼の理論の正しさが証明されました。
問16	答え 石油危機	1973年に第四次中東戦争が発生すると、OPEC（石油輸出機構）が石油の輸出を制限し、価格を急激に引き上げました。これを受けて日本国内でも買い占め騒動が起き、物価が急上昇して「狂乱物価」と呼ばれる状況となりました。
問17	答え 第四次中東戦争	1973年にイスラエルと周辺のアラブ諸国の間で起こった第四次中東戦争をきっかけに、石油輸出機構（OPEC）が石油を武器として政治的な圧力を行いました。これにより原油価格が大幅に引き上げられ、世界的な「石油危機」が発生しました。日本では灯油やトイレットペーパーの買い占め騒動が起きるなど、国民生活と産業に大きな不安を与えました。
問18	答え 田中角栄	田中角栄内閣の下で、1972年5月15日に沖縄の施政権が日本に返還されました。彼は返還にあたって、日本政府として「非核三原則（核兵器を持たず、作らず、持ち込ませない）」を順守することを強調しました。田中内閣はこの他にも、日中国交正常化や「日本列島改造論」を掲げるなど、戦後政治において非常に影響力の強い内閣でした。
問19	答え 石油危機	エネルギーの多くを石油に頼っていた日本経済は深刻な打撃を受け、物価が急激に上昇する「狂乱物価」と呼ばれる状況になりました。この影響で戦後初めてマイナス成長を記録しました。
問20	答え 無条件降伏	この宣言の核心は、日本軍が「無条件降伏」することでした。軍隊の武装解除や、民主主義の復活などが条件として盛り込まれていました。日本政府はこの宣言の受諾を遅らせたため、広島と長崎への原爆投下やソ連の参戦を招くことになりました。